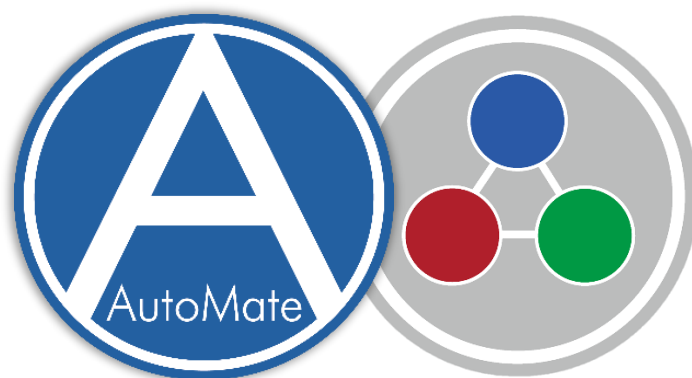


AutoMate 11 リリースノート

【11.5.0】



三和コムテック株式会社



作成日：2021/04/28

更新日：

内容

1	はじめに	3
2	AutoMate 11.5.0 リリースノート	3

1 はじめに

本書は AutoMate 11 ver.11.5.0 の変更箇所について、リリースノートとして記載しています。

2 AutoMate 11.5.0 リリースノート

【新機能】

- ・ステップ レコーダー
 - AutoMate Enterprise・Plus・Ultimate のみ
 - ステップ レコーダーは、UI の対話型操作やアクションの自動化と記録のプロセスを簡略化する機能です
 - 直感的な UI により、デスクトップの対話型操作を迅速かつ簡単に自動化します
 - ウィンドウ内での UI コントロールの対話型操作をサポートしています
 - テキストボックスにキーストロークを入力、またはウィンドウでキーストロークコマンドを実行することができます（例：CTRL+ALT+DEL 等）
 - 指定された時間、または指定されたウィンドウにフォーカスが合うまで、記録を一時停止します

- ・ [OCR]アクションの機能拡張
 - AutoMate Desktop・Enterprise・Plus・Ultimate
 - Tesseract エンジンのサポートが追加されました
これにより精度を向上させ、より信頼性の高い結果を提供します
 - すべての OCR アクティビティに JPEG 画像フォーマットのサポートが追加されました
 - すべての OCR アクティビティに日本語・ヘブライ語のサポートが追加されました

- ・ [Web ブラウザ]アクション機能拡張
 - AutoMate Desktop・Plus・Ultimate
 - すべての Web ブラウザアクティビティに Microsoft Edge ブラウザのサポートが追加されました

- ・ [圧縮]アクション機能拡張
 - AutoMate Desktop・Plus・Ultimate
 - [圧縮 - 検証]アクションが追加されました
このアクションを使用することで圧縮ファイルが有効で破損していないかどうかを検証することができます

- ・ [HTTP]アクション機能拡張
 - AutoMate Desktop・Plus・Ultimate
 - [HTTP - Patch]アクションが追加されました
このアクションを使用することで指定されたサーバー上の既存のデータやファイルを修正することができます

- ・ タスクビルダー機能拡張
 - AutoMate Desktop・Plus・Ultimate
 - タスクに関連するファイルを2分ごとに自動的に保存するオプションが追加されました

【機能拡張】

- EmailトリガーとEmailコンディションに、Exchange Onlineのサポートが追加されました

- [Exchange]アクションに、Exchange Onlineのサポートが追加されました

- [Email]アクションに、Exchange Onlineのサポートが追加されました

- [Exchange]アクションのホットキーが一意になりました

- [Exchange - オブジェクトの取得]アクションは、空のデータセットを返すようになりオブジェクトが存在しない場合でも失敗しなくなりました

- [ファイルシステム - 情報の取得]アクションにて、すべてのファイルのチェックサムを含める機能が追加されました

- タスクアドミニストレーターからタスクエラー通知を送信する際、複数のメールアドレスをセミコロンの区切って送信できるようになりました

- タスクビルダーにて「出力」ペインの情報のない行をダブルクリックすると、「ワークスペース」ペインの参照されている行にスナップする機能が追加されました

- タスクビルダーの「変数」ペインから変数を右クリックしてウォッチリストに追加する機能を追加しました

- [HTTP - Post]アクションにて、ボディを含まないHTTP Postリクエストを送信できるようになりました

- [HTTP - Get]アクションにて、[データセットを作成してデータを設定する]フィールドが、関連する変数や出力ファイルがなくても、有効なアクション出力として受け入れられるようになりました
- [変数 - 作成]および[変数 - セット]アクションにて、入力データに基づいて「初期値」および「新しい値」フィールドのサイズが動的に変更されるようになりました
- [FTP]アクションが TLS 1.3 と以下の TLS 1.3 の暗号をサポートするようになりました：
TLS_AES_128_GCM_SHA256,TLS_AES_256_GCM_SHA384,TLS_CHACHA20_POLY1305_SHA256
- [FTP]アクションが以下の SFTP 暗号をサポートするようになりました：
EA_3DES_CBC,EA_AES128_CBC,EA_AES192_CBC,EA_AES256_CBC
- [PDF - 挿入]アクションで、PDF ドキュメントの最後のページに挿入を実行する機能が追加されました
- [Web ブラウザ - クリック]、[Web ブラウザ - 値の取得]、[Web ブラウザ - 値の設定]、[Web ブラウザ - テーブルの抽出]アクションにて、現在選択されているセッションのブラウザ情報を自動的に検出するようになりました
- [Web ブラウザ - 値の設定]アクションにて、「次のように変更」パラメータに入力された値を偽装するオプションが追加されました
- 新しい Extended 関数 GetTaskInstancePID()が追加されました
この関数を使用することで、実行中のタスク/サブタスクのプロセス ID(PID)を返すことができます
- 管理コンソール(SMC)の監査イベントで、ユーザーがユーザーグループに追加されたか削除されたかを確認できるようになりました
- 監査イベントログを消去したり、指定した日数や月よりも古くなったら削除したりするように設定する機能を追加しました

【不具合修正】

- [入力 - キーストロークの送信]アクションでは、開括弧と閉括弧の間に括弧が含まれていない限り、括弧が送信されなくなりました (例: "((test))" など)
- [データベース - SQL クエリ]アクションで、データセット内のミリ秒が正しく記録・表示されるようになりました

- タスク名に番号記号 (#) を含むタスクが正しく実行されるようになりました
- Extended 関数 StrDup(Amount, Text)で、「変数または関数が存在しません」というエラーメッセージが表示されなくなりました
- [圧縮—圧縮]アクションで、パイプ文字 (|) を使用したときに、サブフォルダ内の複数のファイルまたはワイルドカードマスクを正しく識別できるようになりました
- [Web ブラウザ - クリック]アクションで、不可視のインタラクティブな Web 要素を適切に検出できるようになりました
- [PDF - フィールドの設定]アクションで、変数がセッション名として設定されている場合に、その変数を検出するようになりました
- [PDF - フィールドの設定]アクションで、「名前を付けて保存」オプションを使用しても、変数名ではなく実際の変数値が保存されるようになりました
- [画像 - サイズ変更]アクションで、サイズ変更時に画像が回転しなくなりました
- [圧縮 - 解凍]アクションで、保存先パスがパスの文字数制限を超える場合、エラーが発生するようになりました
- タスクアドミニストレーターでパスに全角文字が含まれていてもタスクを正しく読み込むようになりました
- エラーメールで、セミコロンで区切られた複数のメールアドレスの間にスペースがあっても、エラーが発生しないようになりました
- [Web ブラウザ - 値の取得]アクションは、設定時および実行時に、固定順序ではない複数のフレームを持つ HTML 要素を正しく検出するようになりました
- [HTTP - Get]アクションは、GET メソッドが成功したときにエラーが発生しなくなりました
- [Loop - データセット]アクションは、データセットの行を削除しても「範囲外」のエラーが発生しなくなりました
- [Web ブラウザ - 値の設定]アクションで、アポストロフィー文字(')が正しく設定されるようになりました

- [Web ブラウザ(従来)]アクションは、AutoMate バージョン 9 からタスクをインポートしてもパスワードや隠し値の文字を変更しなくなりました
- [Email]アクションは、認証ボタンで認証変数を選択すると正しくメールサーバーを自動検出するようになりました
- [Email- メッセージの取得]アクションで、アクセント記号付きの文字に対して「?」が返されなくなりました
- タスクアドミニストレーターで作成した定数が、タスクビルダーのエクスペッションビルダーに表示されるようになりました
- AutoMate Desktop と AutoMate Plus/Ultimate のインストーラーファイルは、.NET Framework 4.8 がすでにインストールされているシステムに、.NET Framework 4.8 のインストールを要求しなくなりました
- Event Monitor のユーザーが指定されている状態でタスクをインポートする際、エラーが発生しなくなりました
- [ファイルシステム - ファイルの分割]アクションで、「個々のファイルサイズ」パラメータが「カスタム」に設定されている場合、AutoMate 変数を設定できるようになりました
- [FTP]アクションは"All "オプションが選択された場合に SFTP 接続を確立するようになりました
- 旧バージョンの AutoMate BPA/Enterprise からバージョン 11.5.0 へのデータベースの移行は、以前よりも安定して高速に行われるようになりました
- AutoMate Desktop および AutoMate Plus/Ultimate では、HTTP レスポンスの元のフォーマットが変更されなくなりました
- タスクエージェントと Java エージェントのサーバーポートが独立してロードされるようになり、一方のポートに問題が発生しても、もう一方のポートは影響を受けなくなりました



お問い合わせはこちらまでご連絡ください。

Email : automate@sct.co.jp

TEL : 03-3583-4002